

分類番号

830.2

テーマ別調べ方ガイド



英語史

について調べる



★ 関連キーワード

- 英語史
- 歴史言語学
- 古英語

「Paste (はすて)」とは？

ぱっと分かって、すっと頭に入る、テーマ別調べ方ガイドです。みなさんの学習をサポートする、総合図書館ラーニング・サポーター（LS）による作成です。レポート作成の際などにお役立てください

1. イントロダクション

1-1. 「英語史」とは？—ことばにも歴史あり—

日本の高校を卒業した方であれば、古典の授業を受けたことがあると思います。今の日本語とは全然違う単語や文法に苦労された方も多いことでしょう。言葉は年月とともに変化するものであるため、今の日本語と平安時代の日本語が違うのは当然のことです。しかし、これと同じ発想を英語に対して抱いたことがあるでしょうか？当然、現代文と古文が異なっているように、今の英語と 1000 年前の英語も単語や文法が全く異なっているのですが、「仮定法の時は何故 were をもちいるのか？」、「どうして主語が He や She の時だけ動詞に-s を付けるのか？」といった、いま我々が英語を学ぶ上で疑問に思う点の答えは英語が歴史の流れの中で経験してきた変化を紐解くと見えてきます。

また、近年のグローバル社会においてリンガフランカとしての役割を担っている英語ですが、はじめからそのような権威をもっていたわけではありません。それどころか、イングランド国内でさえ公用語としての地位を失った時期までありました。「英語史」という学問は、辺境の一言語に過ぎなかった英語がその地位を高めていく立身出世の物語です。

「英語史」は言語学と世界史を同時に学ぶことができる、一粒で二度おいしい分野なのです。

1-2. 学習するにあたってのポイント

英語史は時代区分として古英語(5-11c)、中英語(11-15c)、近代英語(15c-)があり、通史だけでなく個別の時代ごとの言葉を学ぶ面白さもあります(シェイクスピアの英語を“古英語”と呼ぶ人が時々いますが、この一文でお分かりの通り間違っています)。今まで英語を学んだ際に抱いた疑問(night の gh は何故発音しないのか、三単現の-s って何なんだ、など)を思い出しつつ学習すると、より面白さが増すと思います。また、英語以外のヨーロッパの言葉を学んでいるひとは印欧語比較言語学の基礎知識を並行して学習することで、学んでいる言語と英語との繋がりを見つけることができます。

1-3. 一般向けに書かれた資料・読み物

■ はじめての英語史：英語の「なぜ？」に答える / 堀田隆一著

私たちが英語を学ぶ上で疑問に思う内容が、発音語形意味といったテーマごとに挙げられ、その疑問を英語史の観点から解決していく本。今の英語さえ分れば読むことができテーマも幅広いため、最初の一冊に最適。この本を通して英語史というものがどのような学問なのかを把握してから下記に挙げている本へと移っていくのが最適だと思われる。

【書誌 ID=2004412849】総合図-A棟4階 学習用図書 830.2||HOT

2. 学習用資料

2-1. 英語の歴史を知ろう

■ The adventure of English : 500 AD to 2000 the biography of a language / Melvyn Bragg 著

英語が発達してきた歴史が英米史の流れとともに物語調に記述してある。英語史を学ぶ上でヨーロッ

パの歴史を学ぶことは必須であるが、そのような知識がない人でも大まかな西洋史の流れを学びながら英語の発達を学ぶことができる。また、教養ある英米人なら知っている演説なども引用されており、英語の勉強にもなる。洋書ではあるが、ある程度英語に親しんでいれば通読可能。

【書誌 ID= 2004166524】総合図-A棟 4階 学習用図書 830.2||BRA

■ How English became English?

上記のものよりも英語という言葉そのものにフォーカスして英語史の概観を記述した本。こちらの方が平易な英語で書かれているので読みやすい。

【書誌 ID= 2004494130】総合図-A棟 4階 学習用図書 830.2||HOR

■ スペリングの英語史 / サイモン・ホロビン著 ; 堀田隆一訳

こちらは英語史の中でも綴り字についての話題に特化した本。学習者が苦勞する、発音と全くリンクしていない綴りの単語についてその歴史を紐解きながら解説している。

【書誌 ID= 2004436219】総合図-A棟 4階 学習用図書 831.5||HOR

2-2. 古い英語を読んでみよう

この項以下に挙げられているものは入門的な立ち位置にあるものがほとんどとはいえ、上記のものよりも専門性が高いものとなっています。一つ一つゆっくりと読み進めていく、何度も読み返す等して少しずつ学んでいただければと思います。

■ 英語発達史 / 中島文雄著

古英語から近代英語にかけての変化が方言まで詳しくまとめた一冊。英語史の言語学的な側面を概観することができるが、上記のものよりも専門性は高い。

【書誌 ID= 2003420495】総合図-書庫棟 研究用図書 830.2||NAK

■ 古英語・中英語初歩 / 市河三喜, 松浪有著

日本語で書かれた古英語、中英語の文法書としては最良のもの。巻末に読解問題とグロッサリーがついており、これ一冊あれば古い英語の文法を学ぶことができる。

【書誌 ID= 2003882034】総合図-A棟 4階 学習用図書 830.23||ICH

■ Bosworth Toller's Anglo-Saxon Dictionary online (<https://bosworthtoller.com/>)

古英語の辞典としては最大のもの。書籍版もあるが、インターネット版が無料で利用できる。

【書誌 ID= 2003286577】総合図-書庫棟 研究用図書 839||TOL

■ ハムレット / シェイクスピア[著]; 高橋康也, 河合祥一郎編注(大修館シェイクスピア双書)

近代英語で書かれた文学で最も有名なものが、シェイクスピアによる作品であろう。大修館シェイクスピア双書は訳文がのっていないものの、日本語によるあらすじと細かい脚注があるため、勉強には最適である。

【書誌 ID= 2003427487】総合図-A棟 4階 学習用図書 932||SHA

■ OED (Oxford English Dictionary)

世界最大級の英英辞典。語源や古い語形も載っており、どの用法がいつの時代から用いられるようになったかまで確認できるため、近代英語を読む際にも有用。阪大生であれば下記 URL から電子リソースにアクセスできる。

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/resource/database/dblist/>

2-3. 最新情報が確認できる資料：主要雑誌・年鑑・Web ページ

■ 歴史言語学 = Historical linguistics in Japan / 日本歴史言語学会

英語史を含めた言葉の歴史を扱う、日本歴史言語学会が発行している出版物。

【書誌 ID= 3002120030】 総合図-A 棟 5F 未製本

■ Studies in Medieval English Language and Literature / 日本中世英語英文学会

古い時代の英語についての言語学、文学研究を扱っている日本中世英語英文学会が発行している出版物。

2-4. その他専門書・学術論文等で注目すべきもの

■ 比較言語学入門 / 高津春繁著

英語を含めたインドヨーロッパ語族の歴史を扱う、印欧語比較言語学についての入門書。英語史との直接的なつながりは見えづらいが、この本を通して大学で学ぶことができる様々な印欧語と英語との繋がりを知ることができる。

【書誌 ID= 2003902632】 総合図-A 棟 3 階 文庫・新書 089||IB||336761

2-5. 有用なナビゲートツール：ブックガイド・リンク集

■ hellog～英語史ブログ (<http://user.keio.ac.jp/~rhotta/hellog/>)

慶応義塾大学の堀田隆一先生によるブログ。様々な時代の英語についての疑問とその答えが英語史の様々なアプローチによって解決されている。記事の内容も初学者向けのものからかなり専門的なものまで幅広く、どの層の学習者が読んでも学びがあるものとなっている。

3. レポート・論文執筆用資料

3-1. 有用な検索キーワード

- ◆ 主要キーワード: 英語史/古英語/中英語/近代英語
- ◆ 関連キーワード: グリムの法則 / 大母音推移
- ◆ 補助キーワード: 語源 / 外来語/文学

3-2. 二次資料類：検索サイト・書誌索引

■ 英語史・歴史英語学：文献解題書誌と文献目録書誌 / 大泉昭夫編集

英語史における主要な研究書が解説されているのに加えて、各時代の主要な文献が列挙されている。ただし、挙げられている論文に日本語のものはほとんどなくドイツ語やフランス語のものも多いため、注意が必要である。

【書誌 ID= 2003243194】総合図-書庫 2 階 書誌・索引 R830.31||OIZ

■ Dictionary of Old English Corpus (<https://tapor.library.utoronto.ca/doecorpus/>)

トロント大学による古英語・中英語のコーパス(言語データの集積体)。検索欄に単語を入れるとその語形が使われている文章がヒットするようになっているため、研究などで用例を調べる時にも活用できる(要会員登録)。

3-3. 一次資料類：史料集・全集・統計集・ファクトデータ集

■ The Cambridge Old English Reader / Richard Marsden

文献購読用の古英語資料集。グロッサリーはついているが、本文訳がないため、独学で用いるには適していないかもしれない。

【書誌 ID=2004549468】総合図-A 棟 4 階 学習用図書 830.23||MAR

3-4. レポート・論文の書き方、学び方、引用・参考文献の書き方

■ 日本言語学会 執筆要綱

(https://www.ls-japan.org/modules/documents/index.php?cat_id=21)

人文学では学問分野によって執筆の際の作法が変わることがあるが、言語学に関しては日本言語学会のものに従うことが多い。

本文中で紹介している図書・雑誌について

図書名・雑誌名の後ろに「書誌 ID」(10桁の数字)の記載があるものは大阪大学で所蔵しています。この10桁の数字で大阪大学 OPAC(蔵書検索システム)が検索できます。

